



## 木造園舎に長尺のカナダ産 OSB を活用 木造のコスト競争力を高める材料

年々プロジェクトの予算が厳しくなる状況下で、木造の優位性が注目されている。木造でクリニックや保育園の提案力を高めているのが AAO 建築アトリエ。さきほど完成したぎんなん保育園では、既存建物利用を含めた最適なプランニングを行い、その中でカナダ産 OSB を活用した木造園舎を提案した。



カナダ産 OSB の長尺サイズを使って効率よくパネル化することで工期を短縮し、コストを削減

### 2×4 工法の工期短縮効果でコスト削減

プロジェクトの経済性は優先事項であり、限りある予算を考慮しつつ、建物を建てた後のことを含めた総合的な提案を行うことが重要になる。今回のぎんなん保育園の場合、少子化の影響で将来的には利用する子供の数が減少するという前提で計画を行った。プロジェクトに予算をかけすぎないことで、既存建物を有効活用しつつ、建て替える新しい建物のコストは抑えたい。当初は木造軸組工法で見積もりを取ったが、予算を超えてしまう。設計を見直して 2×4 工法に切り替えたところ、予算内に収まりプロジェクトを進めることができた。2×4 工法はパネル化によって現場作業を減少させ工期を短縮でき、必要な金物の種類も少なく済むことから、結果として大工の作業を減らすことができる。職人不足で人件費が上昇している昨今の状況を見ると、工期短縮は大きな優位性になる。

### カナダ産 OSB は長尺も安定供給

コスト削減の一翼を担っているのがカナダ産 OSB。今回は壁に 3×8 サイズ 9mm 厚を採用した。長尺サイズの面材は一気に壁が張れて効率的だが、長いものは生産が難しくなるので供給問題から価格が変動しやすい。カナダ産 OSB は大きな板に成形してから必要なサイズにカットするため、長尺であっても生産しやすく、供給が安定している。カナダ産 OSB の印象について足立聡氏（顔写真）は「木毛セメント板にも雰囲気似ていて、内装材としても使えそうです」と話す。



天井を高く取った多目的ホール（写真左）を中心に、3歳未満児の部屋（写真右）などを配置



### ぎんなん保育園

建物用途：保育所

所在地：宮崎県宮崎市

敷地面積：3640.69㎡

延床面積：326.80㎡（新築部分）

構造：木造枠組壁工法 1階建（新築部分）

設計・監理：AAO 建築アトリエ

### 木造の特徴が浸透してきた

天井が高く開放感がある多目的ホールを中心に、食育として園児と一緒に配膳できる厨房や、ガラス張りで視界が開けた職員室などを配置した。限られた職員数で3歳未満児を含めた幅広い年齢層を受け入れられるように、見通しがよく機能的なプランとした。

今回の依頼は、AAO 建築アトリエのウェブサイトで別の木造保育園の事例を見た園長からの連絡がきっかけだった。経済性や温かみがあって居心地がいいという木造の特徴が浸透し、依頼主が理解しているという時代になったことを示している。

木造の特徴のひとつとして、他構造に比べて減価償却期間が短いという点がある。AAO 建築アトリエが設計した介護医療院の事例では、2×4 工法の耐火構造で建物を建築したが、鉄骨造の既存建物と同じくらいで償却が終了するというメリットも評価された。木造の競争力がさらに高まるカナダ産 OSB の活用が有効になる。

### AAO 建築アトリエ

代表：足立 聡

住所：宮崎県宮崎市霧島 3-79

加賀ビル 1 F

HP：a-a-o.net

電話：0985-71-4490